

経営比較分析表（令和2年度決算）

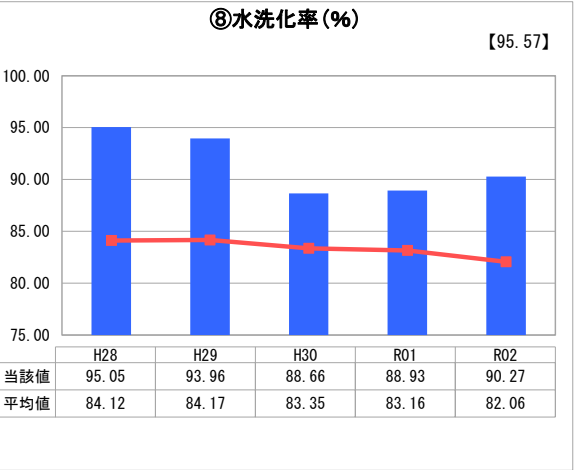
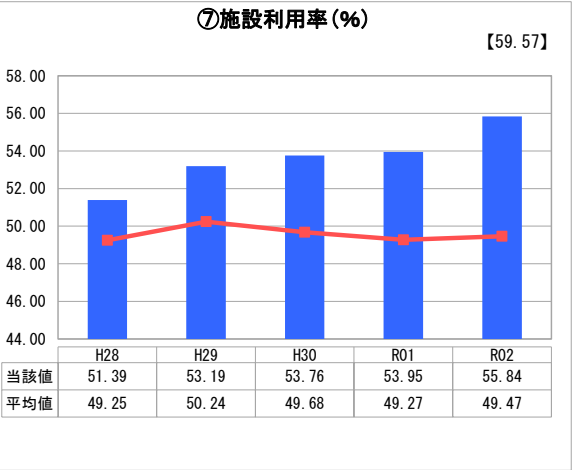
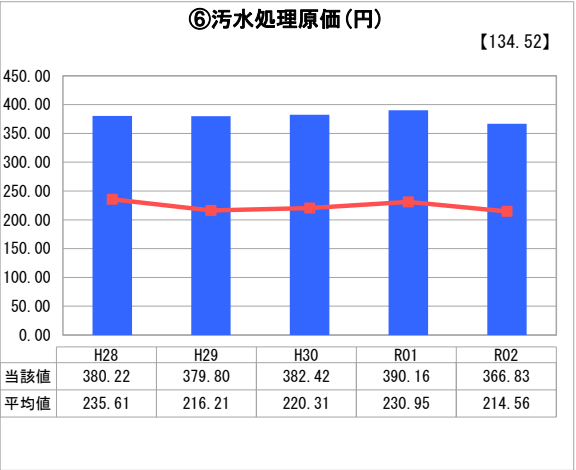
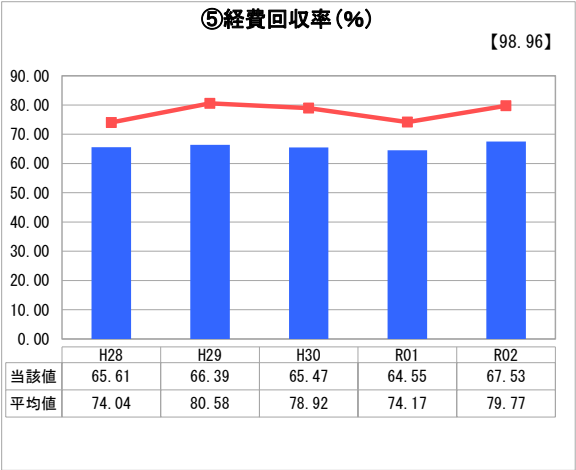
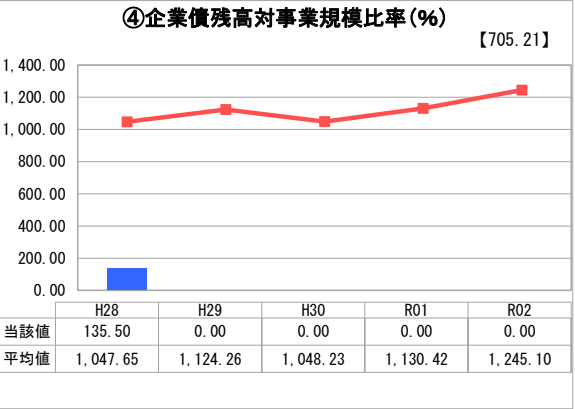
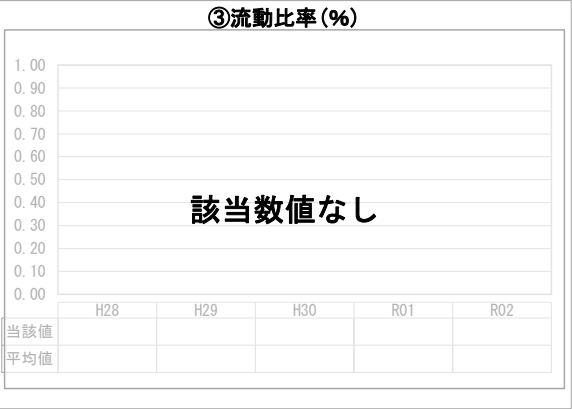
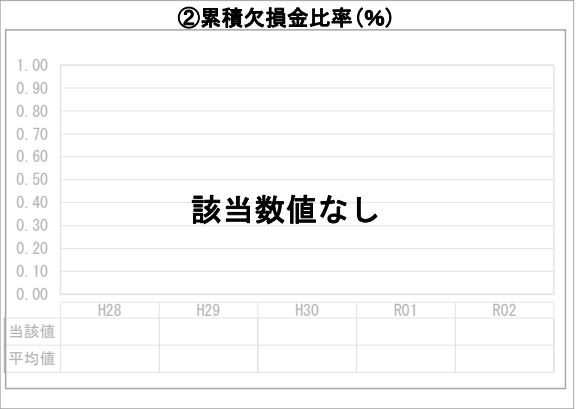
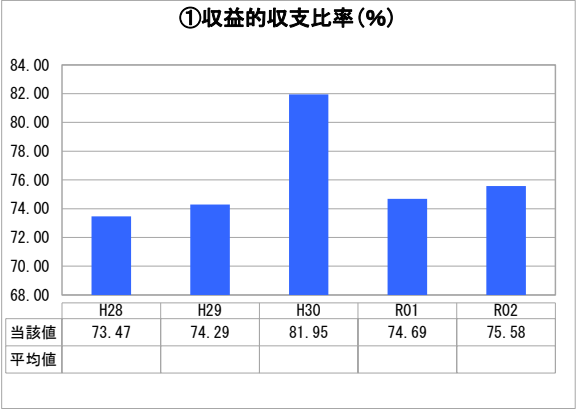
長野県 御代田町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	85.14	99.34	4,620

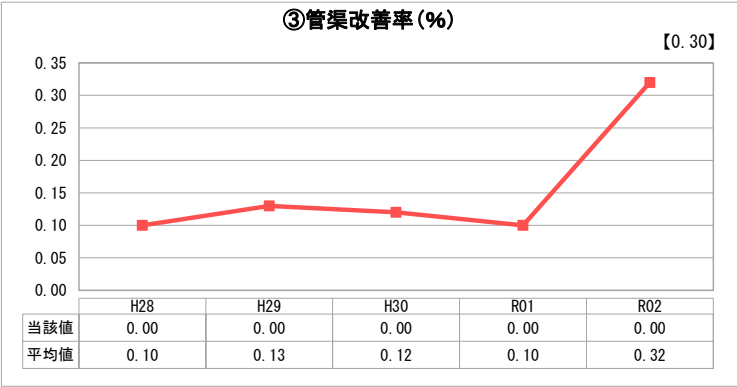
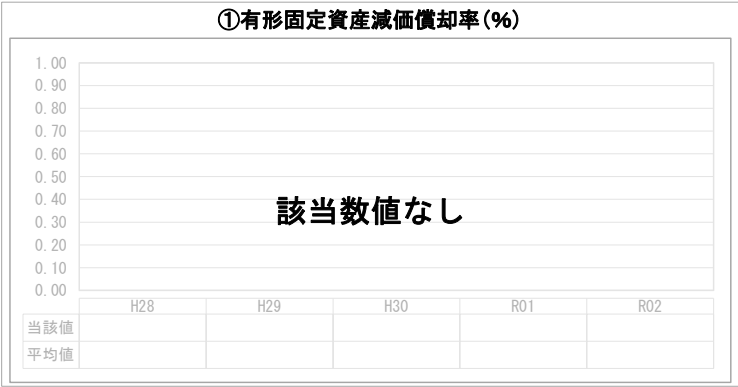
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
15,880	58.79	270.11
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
13,513	7.24	1,866.44

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



1. 経営の健全性・効率性について

- ① 収益的収支比率
年度によって増減はありますが、おおむね70%台で推移しており、厳しい状況が続いています。経常費用で大きなウエイト占める過去の建設投資に係る元利償還額が増加傾向にあることが大きな要因です。支出が大きい中、繰入金に頼らざるを得なく、使用料収入等の安定確保のための方法が必要です。
- ④ 企業債残高対事業規模比率
企業債の償還金を一般会計からの繰入金で全て賄っているため、数値は0となっています。
- ⑤ 経費回収率
当町は60%台で推移しています。類似団体と比較すると、乖離は徐々に大きくなっています。令和2年度は生活様式の変化で使用料は増収しましたが、汚水処理に係る費用が使用料以外の収入で賄われているため、適正な使用料設定による収入確保及び汚水処理費の削減が必要です。
- ⑥ 汚水処理原価
類似団体の平均値よりも高い水準であり、有収水量1㎡当たりの汚水処理費が高い数値であることから、投資の効率化や維持管理費の削減し経営改善していく必要があります。
- ⑦ 施設利用率
流入汚水量の増加に伴い、施設利用率は年々向上しています。今後は人口減少に伴い、減少していくことが予想されますが、減少時には適正な運転管理が必要です。
- ⑧ 水洗化率
水洗化率は類似団体の平均値を上回る数値を維持しています。

2. 老朽化の状況について

終末処理場については、ストックマネジメント計画に基づく改築更新に着手しています。管渠については、ストックマネジメント計画に基づく点検、調査を実施していきます。投資の平準化を図りながら、計画的な改築更新に取り組み、適正な維持管理を実施していきます。

全体総括

公共下水道事業を今後も継続的に実施するためには、維持管理費の削減、改築更新の計画的な実施による支出の平準化、水洗化率の向上、適正な料金設定など総合的に取り組み、経営の健全化、効率化を目指していきます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。